

1 平成 23 年度 普通会計決算状況(総括)

普通会計決算の概要

1 調査団体数

平成23年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	23	35	63	140

2 決算規模

平成23年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成23年度(A)	平成22年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,063,081	1,068,092	99.5
歳 出	1,022,157	1,025,875	99.6
差 引	40,924	42,218	96.9

3 収支の状況

(1) 実質収支

ア 平成23年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、409億2千4百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源90億4千3百万円を差引いた実質収支は、318億8千1百万円で、前年度と比べて6億4千7百万円減少した。

イ 実質収支をみると、140の全団体が黒字となった。

(2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ53億3千5百万円減少し、6億4千万円の赤字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて82億5千7百万円減少し、111億8千5百万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は112億1千8百万円で前年度と比べて20億9千5百万円減少し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は47億5千7百万円で前年度と比べて5億5千5百万円増加した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は41億5千万円で前年度と比べて13億8千3百万円増加した。